

希望の車いす

ニュースレター

No.2 2007年3月1日

～ 世界におくろう 愛と 希望の車いす ～

旅行の思い出



「希望の車いす」をお心にかけて折ってくださる皆様に、心からのご挨拶を申し上げます。私たち家族は去年のクリスマス休暇を利用して、サンフランシスコ湾の近くから、9

80キロ離れたオレゴン州の海岸を目指して、車で旅行をしました。まず、歴史的な建造物である燈台を訪れ、「日時計」という名の近代的な橋をわたり、対岸にあるエスニックなレストランで食事をしました。それぞれの場所で車から降りて、周囲の散歩もしました。家族が共に行動して、皆で笑ったり、遊んだりしながら共にいられる事が本当に楽しかったーそんな素敵な思い出

出を心に刻むことが出来ました。息子のダニエルが車椅子を使っているからこそ、家族が共に行動できたのです。

自分で歩くことの出来ない子供を持つ多くのご家庭にとっては、家族そろって外出し、自然を楽しむような機会を持つことは余りありません。ダニエルが車いすを使えるからこそ皆で旅行に出かけることも可能だったのです。まだ沢山の方々、車椅子を持っています。それさえあれば、その人たちは間違いなくそれまで閉じ込められていた狭い空間から抜け出し、本当の意味で家族や、社会の一員として参加することが出来るようになるのです。

これまでもお時間や、労力や、その他様々な物をささげてくださり、ご奉仕くださった皆様、この尊い働きが続けられるようにして下さっていることを心から感謝申し上げます。

発起人

メリー・ペナー



東大和キリスト教会の有志の方々、素敵な笑顔でグリーンングの最中、

4台の車いすの行方

「希望の車いす」は、車いすを必要としているの方々のもとに確実に届けられるように、様々な国で活動している福祉団体とパートナー関係を結びます。タイとビルマの国境近辺に居住している難民の方々の福祉に関心を抱いている「キャンドルライト」という団体もそのひとつです。クリスマス・アカデミー・イン・ジャパンの学校代表者がバンコクに旅行した際に車いす4台を選び「キャンドルライト」の方が、車で7時間かけて、バンコクまで取りに来てくれました。輸送に関しては、タイ航空様の多大なご協力をいただきましたことを感謝いたします。



ビルマ、モン族出身のロートさん、19歳。小児麻痺を患いました。現在カヌー工場に勤務しています。

自宅の前で座っているのは、エグハイさん。ラオス人 42歳です。脳卒中を2度疾患。



ラマシアンさん、インド人56歳です。脳卒中を疾患。

セイン・アウングさん、ビルマ人56歳です。牛車転倒事故で、四肢に局部麻痺があります。



＊ 3月のグリーンングと整備は、3月15(木)、3月17日(土) 10am～3pm 東久留米市の駅からすぐ近くのビル「松川プレース」1Fの多目的ホールで行います。

＊ 希望の車いすの会員による第一回総会が2月22日に開催されました。現在、NPO法人資格取得のための手続きを行っています。

＊ タイにあるいくつかの福祉グループから、「希望の車いす」と協力関係を結びたいという申し出がありました。

＊ 現在約100台の車椅子が収集され、保管されています。(室内小児用、屋外小児用、一般用)

＊ 海外に旅行される際に、車椅子を手荷物として運んでくださる方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

子ども達大活躍—ファン・ラン

昨年11月の土曜早朝、東久留米市にあるクリスチャンアカデミー・イン・ジャパン初等部から、40名の生徒が参加して、ファン・ラン (Fun Run) 大会が開催されました。子ども達は、1周500メートルの公園を走りましたが、1周毎に一定の金額を「希望の車いす」に寄付をしてくださるよう、親、親戚、近所の方々をお願いした上で参加しました。私も、子ども達に声援を送りに行きました。スタートの前に、教師の一人であるエリソン先生が、「私たちの健康な手足を動かして走ることによって、足が不自由な方々に車いすを贈ることが出来るのです。イエス様がお喜びになるように走りましょう。」と話されました。



2、3周で疲れて一休み、それから又少しは走れるかしらとの私の予測に反して、皆一生懸命にがんばりました。競技場のように整備された走路でないにもかかわらず、

2名の2年生の男の子は、1時間も走り続けました。子ども達の頑張る様子は、私は大変驚きました。又同時に「希望の車いす」に寄付されることになった金額の合計が、659,101円になるとは、全く予想外でした。ファン・ランに寄せられた寄付金で、モンゴルに125台の車いすを送ることが出来ます。

“キリストのために世界に影響を与えるように、学生たちを教育し、整える”というクリスチャンアカデミーの教育理念が、確かなものであることをこの日実感しました。「希望の車いす」は、走ってくださった小学生の方々と、お手伝いしてくれた高等部クロスカントリーチームの学生一同に心から敬意を表します。子ども達の善意に答えて、豊かに寄付して下さった関係者の方々ありがとうございました。クリスチャンアカデミーのご協力により、多くの方々のもとに希望が届けられることとなります。深く御礼申し上げます。

整備、クリーニング ティ!

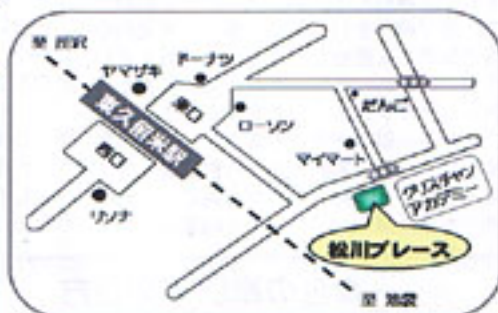
日時: 3月15日(木), 3月17日(土)

10am ~ 3pm

場所: 松川ブレス 1F

東久留米市 新川町1-2-12 1F 多目的ホール
(西武池袋線 東久留米駅から徒歩2分)

作業用の服をご準備の上、どうぞご参加ください!!



当日連絡先 0424-68-8106(事務所)
080-6689-8130 (田原)

*** ご協力、ご寄付ありがとうございます ***

シンガポール航空様、タイ航空様、フランスベッド様、Apostolos Corp., 様、アイラブサイクル・アキ東所沢店様、田園グレースチャペル様、青柳グレースチャペル様、市川友愛教会様、東大和キリスト教会様、久留米キリスト教会様、Japan Baptist Fellowship様、クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン様、OMS インターナショナル様、スタジオ クリエーション様、Children's Developmental Center様、東京ローア バプテスト教会様、Faegre & Benson LLP様、日農様 (順不同)

*** 会計に関して ***

2006年10月1日~2007年1月30日までの間に この会の趣旨に賛同して下さる方々や、団体からの寄付金の収入が896,348円ありました。支出は574,572円でした。出費のおもな項目は、車椅子の回収と、配送のための交通費 車椅子の整備、修理費、事務費です。様々な方々が、ボランティアとして、手伝って下さいましたことを心より感謝いたします。

希望の車いす

「希望の車いす」の会

発起人: メリーベナー

事務局: 〒203-0013 東京都東久留米市新川町 1-2-12-106

Tel/Fax: 047-337-3861 又は 047-338-7101

Eメール: kibounokurumaisu@yahoo.co.jp

郵便振替: 001803-686314 希望の車いす